

日本語教育シンポジウム



シドニーでのバイリンガル・ バイカルチャー教育と子育て (使用言語：日本語)

2017年3月19日 (日)
(12:00受付) 12:30-
14:30 (レセプション)

The Japan Foundation, Sydney
Level 4, Central Park
28 Broadway, Chippendale, NSW
2008

講演者・パネリスト

田浦秀幸 (立命館大学大学院・言語教育情報研究科教授)

尾辻恵美 (シドニー工科大学) 飯田純子・福井なぎさ (NSW大学)

司会進行 トムソン木下千尋 (NSW大学)

講演者からのメッセージ

帰国生・一般生・外国籍の子どもたちが共に学ぶ場である千里国際学園で、初めて帰国生教育に従事しました。それ以来バイリンガリズム研究を続けてきました。国際結婚家庭のお子さんは生まれた時から2言語接触を開始していますが、成人前に第2言語に接触したお子さんに比べて、文化的価値判断基準・アイデンティティーや脳内言語処理は異なるのか？バイリンガルに育てるメリットは何か？バイリンガルに育てるには家庭内言語はどうすれば良いのか？これらの疑問に研究課題として取り組んできましたので、その研究結果の一部をお話しします。その際、頭で考えるほど実際の子育てでは上手くできなかった個人的体験も交えてお話ししたいと思います。昨年来BrexitやTrump大統領就任がありました。混沌とした世の中を切り開けるのは、多様な言語・価値観を共有するシドニーのような地で年少時代を過ごしている子どもたちだと思います。その子どもたちを家庭で育てる保護者、学校で教育する教員及びその関係者の方々に少しでも私の研究・体験談がお役に立てればと思います。

講演者プロフィール

田浦秀幸 (たうらひでゆき) 立命館大学大学院・言語教育情報研究科教授。シドニー工科大学客員教授。

シドニー・マッコーリー大学で修士・博士号(言語学)取得。大阪府立高校および千里国際学園で英語教諭を務めた後、福井医科大学・大阪府立大学を経て現職。バイリンガルや日本人英語学習者を対象に言語習得・保持・喪失に関する基礎研究(言語科学・脳科学側面)に従事する一方で、将来英語や日本語教員を目指す大学院生指導も行っている。著書は「Bilinguality and Bilingualism in Japanese School-Aged Children (単著)、『バイリンガリズム入門』(共著)、『科学的トレーニングで英語力は伸ばせる』(単著)など。豪州人と結婚し、二言語環境での子育ての大変さを痛感した父親でもある。2016年11月以降シドニー日本語土曜学校を訪問し、幼稚園部から中学3年生のクラスを見学し、シドニーでの土曜日補習校の現状把握に努めた。



参加申込み、お問合せは
松井まで
(k.matsui@unsw.edu.au)
共催：The Japan
Foundation Sydney,
UNSW, UTS